

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 2020年6月度 番組審議会概要

2020年6月11日（木）

14時00分～

テレビ静岡本社 4階 会議室

— 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子
木村 精治 上柳 正仁 飯野 勝己 東松 充憲 飯塚 潤

— 議 題 —

番組名 「爆笑問題の深海 WANTED6
最新マシンで深海大探査！世界初&激レア映像！！連発SP」

放送日時 2020年5月17日（日） 16時05分～17時20分
テレビ静岡発 フジテレビ系全国27局ネット番組

制作著作 テレビ静岡

— 番組内容 —

「深海」という未知の世界を追い続けてきた“深海バラエティ”の第6弾。今回は沖縄と駿河湾を舞台に、最新マシンを使った2大プロジェクトを展開した。

沖縄では沖縄美ら海水族館が全面協力。この水族館では昨年末、深海魚「オニキホウボウ」を捕獲し、世界初の展示に成功している。今回、2種類の捕獲装置を備えた無人潜水艇を使い、希少な深海生物の捕獲と展示に挑む。

駿河湾では日本初の水中ドローンメーカーが開発した最新の機材を駆使し、水深2,500メートルの駿河湾で激レア生物の撮影を試みた。そこに姿を現した巨大生物とは？

— 審議概要 —

- ◎大人にも子供にも、楽しくためになる内容だった。娯楽と教養の要素がバランスよく盛り込まれていた。
- ◎最新マシンを駆使しながら捕獲するのは結局普通の網だったり、画面に撮影場所の地図や水深を表示するなど、冒険に行くようなワクワクした演出が楽しかった。
- ◎深海でありながら映像が非常に鮮明で、技術の進歩に驚いた。
- ◎VTRの映像も、スタジオの展開も面白く、構成もバランスが取れていた。番組全体に安定感があり、完成度が高く、安心して家族で楽しめる番組だった。
- ◎ゲストの鈴木香里武さんの解説は知識が豊富で面白かった。漁師の長谷川久志さんとのやり取りも良いコンビだった。また、水中ドローンを開発した伊藤昌平さんのような若手経営者も頼もしく感じた。若い世代を中心にした企画も見てみたい。
- ◎沖縄美ら海水族館の金子篤史さんとスタッフにプロのすごさを感じた。希少生物を捕獲して生きたまま展示をめざす熱意と真剣さがよく伝わってきた。
- ◎過去の番組には捕獲がうまくいかず苦しい構成もあったが、今回は「沖縄での捕獲・展示」「おもしろ生物の企画」「駿河湾の希少生物の映像」とバラエティに富んだ構成で楽しめた。過去作品も含め貴重な記録・教材でもあり、ぜひ学校や図書館での視聴等、教育にも活用してほしい。
- ◎この番組の良いところは、視聴者が見たいものを見せてくれるところ。私は生物の生態を見たいが、この番組はナショナルジオグラフィック等とは違うアプローチで、あくまでも見る人の側に立っている。
- ◎新型コロナ対策でやむを得ないが、スタジオでのリモート出演者とのやり取りや、ゲストのコメントの量が物足りないと感じた。
- ◎希少生物の生息地や生態などの情報や、最新機材の技術的な解説もあった方が番組に奥行きが出たのではないか。
- ◎せっかく希少な生物を捕獲・撮影できたのだから、番組の最後などにまとめてもう一度見せても良かったのではないか。

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りの参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は2020年7月9日（木）の予定です。